

平成16年入域観光客統計概況

平成17年1月17日
沖縄県観光リゾート局

平成16年入域観光客数 5,153,200人 (過去最高)
・対前年比 +1.3% (+68,500人)

1. 空海路別入域状況

空路： 5,050,000人 (対前年比 +1.1%)
海路： 103,200人 (同 +17.9%)

2. 国内外・主要航路別入域状況

国内： 5,023,700人 (対前年比 +0.8%)
国外： 129,500人 (同 +29.4%)

〈国内主要航路別状況〉

東京： 2,297,200人 (対前年比 +0.5%)
阪神： 967,100人 (同 +1.5%)
福岡： 663,800人 (同 +1.9%)
名古屋： 416,500人 (同 +0.1%)

3. 概況

平成16年の入域観光客数は、7月以降、本県はもとより本土においても相次いで襲来した台風の影響や新潟中越地震に伴う旅行マインドの低下等により、前年を下回ったものの、年間を通じて沖縄人気が続いたことや、離島観光が好調に推移したこと、昨年のSARS等による減少の反動により高水準で推移し、年間では過去最高記録を更新する515万人(前年比 +1.3%)となった。

〈主な増加要因〉

- 沖縄の音楽、文化、芸能、食材等への全国的な関心の継続
- 修学旅行の増加(過去最高の約40万人が来県)
前年比 約6.7万人増、+19.9%(高校+13%、中学校+52%)
- 外国人観光客の回復(台湾からのプログラムチャーター便の就航やクルーズ船の運航拡大)
- 官民あげての積極的な誘客キャンペーン

4. 平成17年目標

入域観光客数 540万人(+4.8%、+246,800人)
観光客一人当たりの県内消費額 7万7千円(+4.1%、+3千円)
観光収入 4,160億円(+8.8%、+335億円)